

IRB番号「2021-GB-023」

研究課題名「高齢者胃癌患者における機能温存手術の有用性の検討」

1. 研究の対象

西暦2005年4月から2020年4月までにがん研有明病院消化器外科で腹腔鏡下胃切除術を受けられた方。

2. 研究の目的・方法

高齢者に対する、機能温存胃切除術の安全性や術後のアウトカムを分析し、機能温存胃切除術の適応を明らかにすることを目的とする。

上記期間で、cT1NOMOの早期胃癌に対して手術を受けられた方のうち、75歳以上を対象とする。機能温存胃切除術群、定型手術群の2群に分け、下記の臨床情報を後方視的に解析する。

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、American Society of Anaesthesiologists Physical Status (ASA-PS)、Performance Status (PS)、臨床病期、画像診断結果、手術所見、術後合併症、生存期間、死亡、再発etc)
- ② 血液所見（血清アルブミン値、血清総蛋白値、血清ヘモグロビン値、血清プレアルブミン値 etc)
- ③ 病理学的所見（組織型、病理学的病期)
- ④ 治療（術式、再建方法、治療内容、内視鏡所見 etc)

3. 研究期間

承認日 ～ 2023年03月31日

4. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。

情報：

- ① 臨床所見（年齢、性別、身長、体重、American Society of Anaesthesiologists Physical Status (ASA-PS)、Performance Status (PS)、臨床病期、画像診断結果、手術所見、術後合併症、生存期間、死亡、再発etc)
- ② 血液所見（血清アルブミン値、血清総蛋白値、血清ヘモグロビン値、血清プレアルブミン値 etc)
- ③ 病理学的所見（組織型、病理学的病期)
- ④ 治療（術式、再建方法、治療内容、内視鏡所見 etc)

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人 がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者 消化器外科 医員 寺山 仁祥
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表) FAX番号03-3520-0141